

主な出来事

【内政】

●トランスペアレンシー・インターナショナルは、2024 年における腐敗認識指数を発表したところ、アンゴラは 180 カ国中 121 位となった。

●イジノ・カルネイロ元公共事業大臣は、次期 MPLA の党首に立候補する旨発表。

【外交】

●2 月 12 日、張斌中国大使は、ロウレンソ大統領に表敬。同大使は、表敬後に報道陣に対して、「中国は巨大事業及び巨額の投資を引き続き促進していく」と発言。

●2 月 15 日、ロウレンソ大統領は、第 38 回アフリカ連合(AU)総会にて、AU 議長に就任。就任演説にて、AU のテーマは「アフリカ開発の要因としてのインフラ投資の重要性」に焦点を当てた「賠償を通じたアフリカ人とアフリカ系住民のための正義」である旨発言。

●ロウレンソ大統領は、国防・元兵士・退役軍人省による中国 CATIC 社からの 3,600 万米ドル分の武器購入を承認。

【日アンゴラ関係】

●2 月 21 日、岩屋外務大臣及びテテ・アントニオ／アンゴラ外務大臣は、G20 外相会合のマージンにて日・アンゴラ外相会談を実施。TICAD9 に向けた二国間関係強化を確認し、二国間投資協定の活用、ロビト回廊等のインフラ投資やエネルギー分野での協力にかかる意見交換を行った。

●2 月 24 日、ロウレンソ大統領は同日付大統領令第 75/25 号に署名し、2025 年国家予算における資金調達を目的として、最大 10 億米ドルまでのユーロ債を日本市場において発行することを承認。

【経済】

●2 月 11 日、ティム・リード英輸出入銀行(UKEF)CEO は、ロウレンソ大統領を表敬。同 CEO は報道陣に対し、UKEF による投資保証額は 20 億ポンドである旨強調した。

●国家統計局(INE)によると、1 月のインフレ率は前月比 1.67%、前年同月比 26.48%の上昇を記録。

* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

イ・ベンゴ州にて約 100 万人を対象としたコレラワクチンの接種を実施した。

内政

1. コレラワクチン接種の実施

2 月 3-4 日、アンゴラ保健省は、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)及び世界銀行の支援のもと、ルアンダ州、ベンゴ州及びイコロ・

2. ロウレンソ大統領のバツハ・ド・ダンド海洋ターミナル落成式への出席

2月10日、ロウレンソ大統領は、ベンゴ州に建設された国内最大の燃料貯蔵センターであるバツハ・ド・ダンデ海洋ターミナルの落成式に出席。併せて同大統領は、環境問題も鑑み敷地内に植樹を行った。

3. アンゴラ政府による検察官への車両提供

2月13日、ロウレンソ大統領は同日付大統領令第58/25号に署名。同大統領令は、検察官による私的利用を目的とした車両740万米ドル分の支払いを承認するもの。購入された車両の台数は明らかにされていない。

4. アンゴラの腐敗認識指数

トランスペアレンシー・インターナショナルは、2024年における腐敗認識指数を発表したところ、アンゴラは180カ国中121位となった。順位は2023年時と同率なるも、ポイントは1ポイント減少し、32ポイントとなった。なお世界平均は43ポイント、民主主義国の平均は47ポイント、非民主主義国の平均は33ポイントであった。

5. ルアンダ州における地方自治体連携統合計画(PIIM)の進捗

2月18日、ルイス・ヌネス／ルアンダ州知事は、2026年には、州レベルでの地方自治体連携統合計画(PIIM)が完了する旨発表した。

6. 次期 MPLA 党首への立候補

イジノ・カルネイロ元公共事業大臣は、次期 MPLA の党首に立候補する旨発表。同氏は、憲法改正等の国家改革及び少なくとも80億米ドルの予算に基づく「広範な国家生産プログラム」の開始を公約に掲げている。

外交

1. 張斌中国大使によるロウレンソ大統領への表敬

2月12日、張斌中国大使は、ロウレンソ大統領に表敬。同大使は、表敬後に報道陣に対して、「中国は巨大事業及び巨額の投資を引き続き促進していく」と発言し、今後も継続してアンゴラに投資していく旨保証した。

2. ロウレンソ大統領のアフリカ連合(AU)議長国への就任

2月15日、ロウレンソ大統領は、第38回アフリカ連合(AU)総会にて、AU議長に就任。就任演説にて、AUのテーマは「アフリカ開発の要因としてのインフラ投資の重要性」に焦点を当てた「賠償を通じたアフリカ人とアフリカ系住民のための正義」である旨述べ置きつつ、「アジェンダ2063」に基づき、交通・接続インフラ、エネルギー・天然資源、平和・安全保障、農業・ブルーエコノミー、大陸統合・自由貿易圏、教育・能力開発、戦略パートナーシップと言った課題を優先すると発言した。

3. 露によるアンゴラ司法局へのサイバー犯罪にかかる訓練の提供

2月17日、ピッタ・グロス／アンゴラ司法長官は、イゴール・クラスノフ露司法長官と面会。露当局は、アンゴラ司法局に対し、サイバー犯罪にかかる訓練を実施する旨約束した。

4. G20における日・アンゴラ外相会談

2月21日、岩屋外務大臣及びテテ・アントニオ／アンゴラ外務大臣は、南アフリカ共和国で開催されたG20外相会合のマージンにて二国間会談を実施。両外相は、TICAD9の枠組みにおける二国間関係の強化、昨年発行した投資協定を活用した日本企業の進出、ロビト回廊に焦点を含む鉄道、港湾及び物流インフラへの投資や南部送電線増強事業等エネルギー分野での協力にかかる意見交換を行った。

5. テテ・アントニオ外務大臣及び米国臨時代理大使の面会

2月26日、テテ・アントニオ外務大臣は、ジェームズ・ストーリー米国臨時代理大使と面会。両政府は、本年6月22-25日にルアンダにて開催予定の米アフリカ・ビジネスサミットの開催等、両国間の経済協力強化及び投資の誘致につき、意見交換を実施した。

6. 中国企業との武器購入にかかる契約

ロウレンソ大統領は、国防・元兵士・退役軍人省による中国 CATIC 社からの 3,600 万米ドル分の武器購入を承認。武器の詳細については、公表されていないものの、購入額の 85%はアンゴラ政府によって保証される。

経済

1. コカ・コーラ社によるアンゴラ産砂糖の利用意思表明

2月6日、コカ・コーラ社は、同社製品の製造においてアンゴラ産の原料使用を増やしたいという意向を表明。同社は、ジョゼ・デ・リマ・マッサーノ経済調整担当大臣とともにアンゴラ産砂糖の使用やガラス産業への投資の必要性につき意見交換を実施した。

2. 英輸出入銀行 CEO によるアンゴラ訪問

2月11日、ティム・リード英輸出入銀行(UKEF) CEO は、ロウレンソ大統領を表敬。同 CEO は報道陣に対し、UKEF による投資保証額は、20 億ポンドである旨強調した。

3. 犯罪捜査局(SIC)によるクォーツの押収

2月12日、犯罪捜査局(SIC)は、ロビト港にて、クォーツが積載された 39 個の 20 フィートコンテナを押収した旨発表。中国に輸出される予定であった同貨物の所有者及びクォーツの採掘方法については、捜査中である。

4. 1月のインフレ率

国家統計局(INE)によると、1月のインフレ率は前月比 1.67%、前年同月比 26.48%の上昇を記録。

5. HUAWEI によるデジタル化事業の開始

2月17日、HUAWEI はビエ州におけるデジタル化事業「Illumina Angola」を開始。同事業は、農村及び遠隔地の接続を確保し、テクノロジーの包摂性とサービスのアクセス向上を目指している。

6. 日本市場におけるユーロ債の発行

2月24日、ロウレンソ大統領は同日付大統領令第 75/25 号に署名し、2025 年国家予算における資金調達を目的として、最大 10 億米ドルまでのユーロ債を日本市場において発行することを承認した。併せて、30 億米ドル分のユーロ債の発行も同日付大統領令第 76/25 号にて承認している。

(了)